

学生の「憩いの場」に

九工大情報工学部 きょう開所

食事、サークル、講演などに活用

31日に開所する九州工業大
情報工学部の「ラーニング
アゴラ」



英沢学部長は「家に帰って
スマホをやるだけでは寂し
い。大学に残って憩える場
をつくりたかった」と話す。

「アゴラ（市場、広場）に
いろんな店が出ているイメ
ージで、いろいろな発表や
イベントで刺激を与え合
う、新たな学習の場にした
い」と意気込む。

施設は平屋で約千平方
メートル。学生食堂とつなげる形
で新築した。350人分の
椅子とテーブルがあり、イ
ンターネット回線とコンセ

九州工業大情報工学部
（飯塚市川津）に、学生の
集いの場「ラーニングアゴ
ラ」が31日、開所する。同
大は、食事やサークル活動、
勉強、学会、講演会、市民
公開講座など多様な学習と
交流の場にしたい考えだ。
この施設を発案した延山

ントをいたるところに配
置。パワーポイントなどを
投影できるスクリーンも複
数ある。食堂から料理を持
ち込み食事ができる。研究
者の学会や講演会を開催
し、居合わせた学生が聞く
ことも想定。「研究の雰囲
気を知ってほしい」（延山
学部長）という。市民向け
科学講座や留学生との懇親
会、ロボットサッカーなど
の会場にもするという。

利用は午前8時から午後
8時半まで。サークル活動
や夕食後の懇談もできる。
施設は大学の独自予算で
2013年度に整備した。

既に、アイデアを出し合い
知識を構築する場所「ミラ
イス」と、アイデアをまと
め知識を統合する場所「ラ
ーニング commons」を設け

ている。同大は「ラーニン
グアゴラ」を、集大成の「知
識の伝達の場」と位置づけ
ている。

（野津原広中）